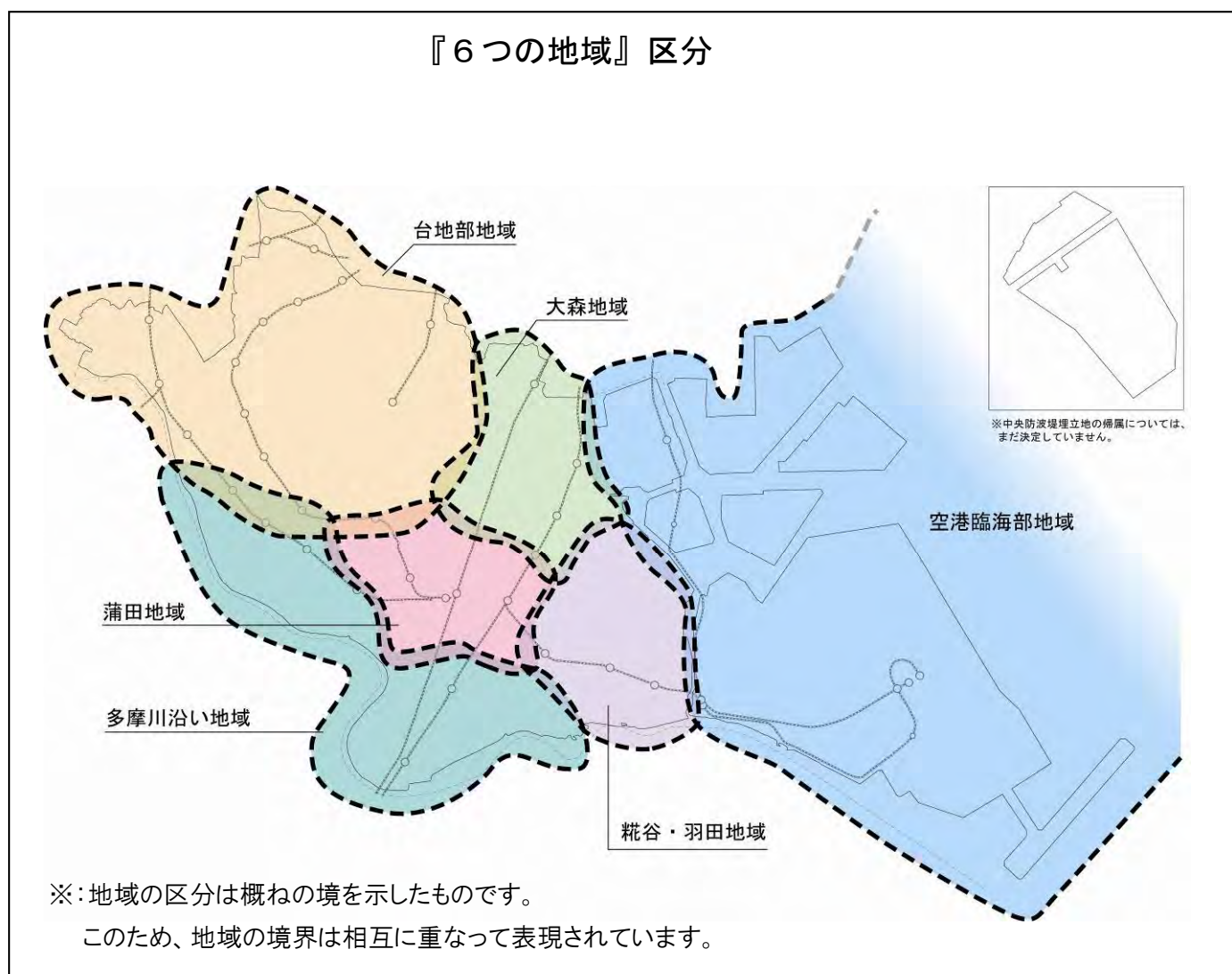




第5章 地域別方針

大田区都市計画マスタープランでは、土地利用の多様性を踏まえて区内を「6つの地域」に区分し、区民がより身近に感じることのできる課題に対してその方針を示しています。

この章では、前章で示した施策の方針に基づき下図の6つの地域の区分で地域別のみどりのまちづくりの方針を示します。



※大田区都市計画マスタープランより

図-33 6地域の区分図

1 台地部地域

概況

区内でも良好な自然環境が比較的多く残っている地域であり、住環境保全型の市街地形成や水と緑の潤いのある環境づくりを目指して、緑豊かな低層住宅地の優れた住環境の維持・保全や多摩川の活用、崖線の貴重な緑の保全、みどりのネットワークづくりなどの取組が求められています。

地域内には、みどりの10拠点のうち5箇所が分布します。しかし、良好な居住環境を保ち続けて来た緑豊かな住宅地では、社会・経済状況の変化に伴う敷地の細分化や集合住宅化等により、緑の減少が急速に進んでいます。また、崖線沿いや多摩川沿いには大規模な公園・緑地が整備されていますが、住宅街では公園・緑地の不足地域の解消や拡張整備が望まれます。

みどりのまちづくり方針

多摩川や南北崖線、国分寺崖線などの豊かな緑を保全し、緑豊かな住環境を守るために緑の減少をくい止め、公園・緑地の整備や呑川沿いなどの散策路整備を進め、「豊かな自然と潤いのある住環境がつながるみどりのまちづくり」を積極的に推進します。

① 5つのみどりの拠点の保全・再生に取り組みます

- ・ 洗足池周辺、多摩川台公園周辺、鶉の木周辺、池上本門寺周辺、山王周辺

② みどりの骨格となる崖線沿いのみどりや多摩川、呑川沿いのみどりを守り、つくります

- ・ 国分寺崖線、南北崖線沿いの樹木・樹林の保全・保護(田園調布から山王)
- ・ 自然環境保全型公園・緑地の整備(佐伯山緑地、水神公園など)
- ・ 呑川緑道の整備、再整備(池上本門寺周辺から東京工業大学周辺まで)
- ・ 「多摩川水系河川整備計画」の推進(鶉の木から田園調布)

③ 公園の不足地域の解消に努め、地域の魅力を活かした公園・緑地を整備します

- ・ 都市計画公園の整備推進(田園調布せせらぎ公園、多摩川台公園、洗足池公園、鶉の木松山公園など)
- ・ 大規模公園の魅力アップ(洗足池公園、東調布公園、多摩川台公園など)
- ・ 公園不足地域の解消(南千束三丁目、南雪谷二丁目、田園調布五丁目付近など)

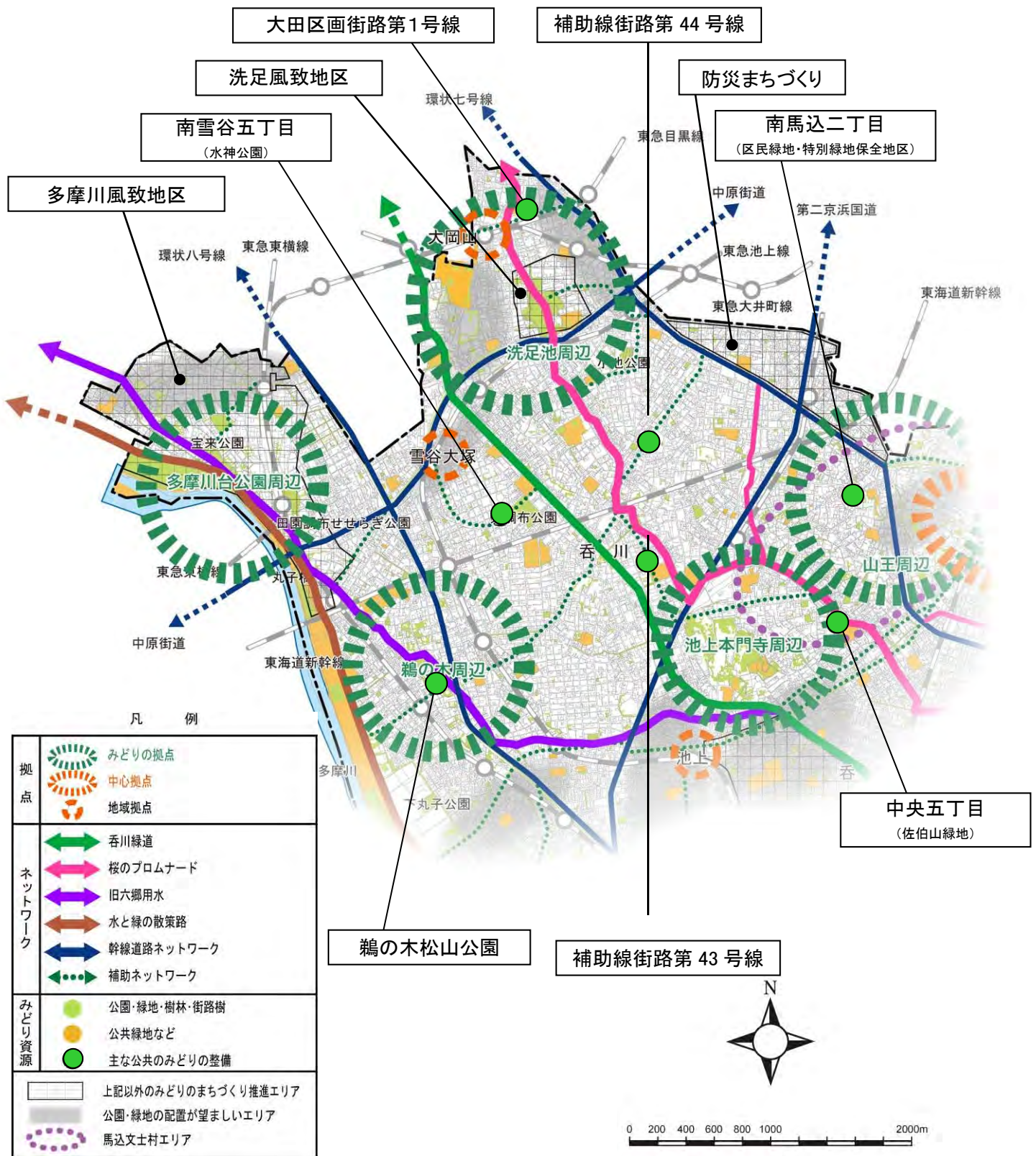
④ 呑川緑道を中心とした地域内のみどりをつなぐネットワークづくりを進めます

- ・ 都市計画道路の整備推進(補助線街路第43、44号線、大田区画街路第1号線)
- ・ 桜のプロムナードの整備、再整備(南馬込から北千束)
- ・ 旧六郷用水散策路の整備(池上から田園調布)
- ・ 水と緑の散策路の整備(鶉の木から田園調布)
- ・ 歴史と文化と自然の散歩道づくり(旧鎌倉街道、雑木林のみちなど)

⑤ みどり豊かな住環境を保ち続けられるみどりのまちづくりを推進します

- ・ 各種法制度を活用した市街地緑化の推進
- ・ 風致地区制度の活用(多摩川風致地区、洗足風致地区)
- ・ 地区計画制度の活用(田園調布、南千束)
- ・ 歴史文化的資源の活用(池上本門寺や洗足池、多摩川台古墳群、六郷用水、馬込文士村など)
- ・ 地域のみどりのまちづくり活動の推進

豊かな自然と潤いのある住環境がつながるみどりのまち



※「主な公共のみどりの整備」にはⅠ期前期(平成23年度～27年度)に供用開始したものを含まず。

図-34 地域別方針図【台地部地域】

2 大森地域

概況

大森駅周辺の中心商業業務市街地と大森西から大森東に広がる住工調和型市街地、そして良好な自然環境が多く残っている住宅街の山王・馬込に区分され、中心拠点としての魅力あるまちづくりや密集市街地での安全・安心と潤いを高める取組、貴重な緑の保全と創出、歴史や文化を活かしたみどりのネットワークづくりなどの取組が求められています。

地域内には、山王周辺と大森ふるさとの浜辺公園周辺の2箇所のみどりの拠点が、大森貝塚や馬込文士村などの歴史文化的な要素も数多くあります。しかし、山王・馬込では緑の減少が急速に進んでいます。一方、大森駅周辺の大森北を含めたその他の多くの地区ではわずかながら緑が増える傾向が伺えますが、まだまだ緑が不足しており一層の緑化推進が望まれます。また、大規模な公園・緑地が臨海部沿いに整備されていますが、住宅街では公園・緑地の不足地域の解消や拡張整備が引き続き望まれます。

みどりのまちづくり方針

山王から馬込に続く南北崖線沿いの緑豊かな住環境を守るとともに、歴史と文化を感じ大森駅周辺の中心拠点整備や、大森東・南等の住工調和型市街地整備、大森中地区の防災まちづくりなどによる緑化推進や公園・緑地整備などに取り組み「暮らしを感じる賑わいと、浜風と文化のかおるみどりのまちづくり」を推進します。

① 2つのみどりの拠点の保全・再生に取り組みます

- ・ 山王周辺、大森ふるさとの浜辺公園周辺
- ・ 大森ふるさとの浜辺特別緑地保全地区の保全(干潟の再生復元)

② みどりの骨格となる南北崖線沿のみどりや平和島運河沿のみどりを守り、つくります

- ・ 自然環境保全型公園・緑地の整備(佐伯山緑地など)
- ・ 南北崖線沿いの樹木・樹林の保護(馬込から山王)
- ・ 海辺の散策路の整備(旧呑川河口から大森ふるさとの浜辺公園)

③ 公園不足地域の解消に努め、地域の魅力を活かした公園・緑地を整備します

- ・ 大規模公園・緑地の魅力アップ(大森ふるさとの浜辺公園、平和の森公園、平和島公園など)
- ・ 大森南圃場の再整備
- ・ 公園不足地域の解消(山王二丁目付近など)
- ・ 公園の新設(大森南四丁目)

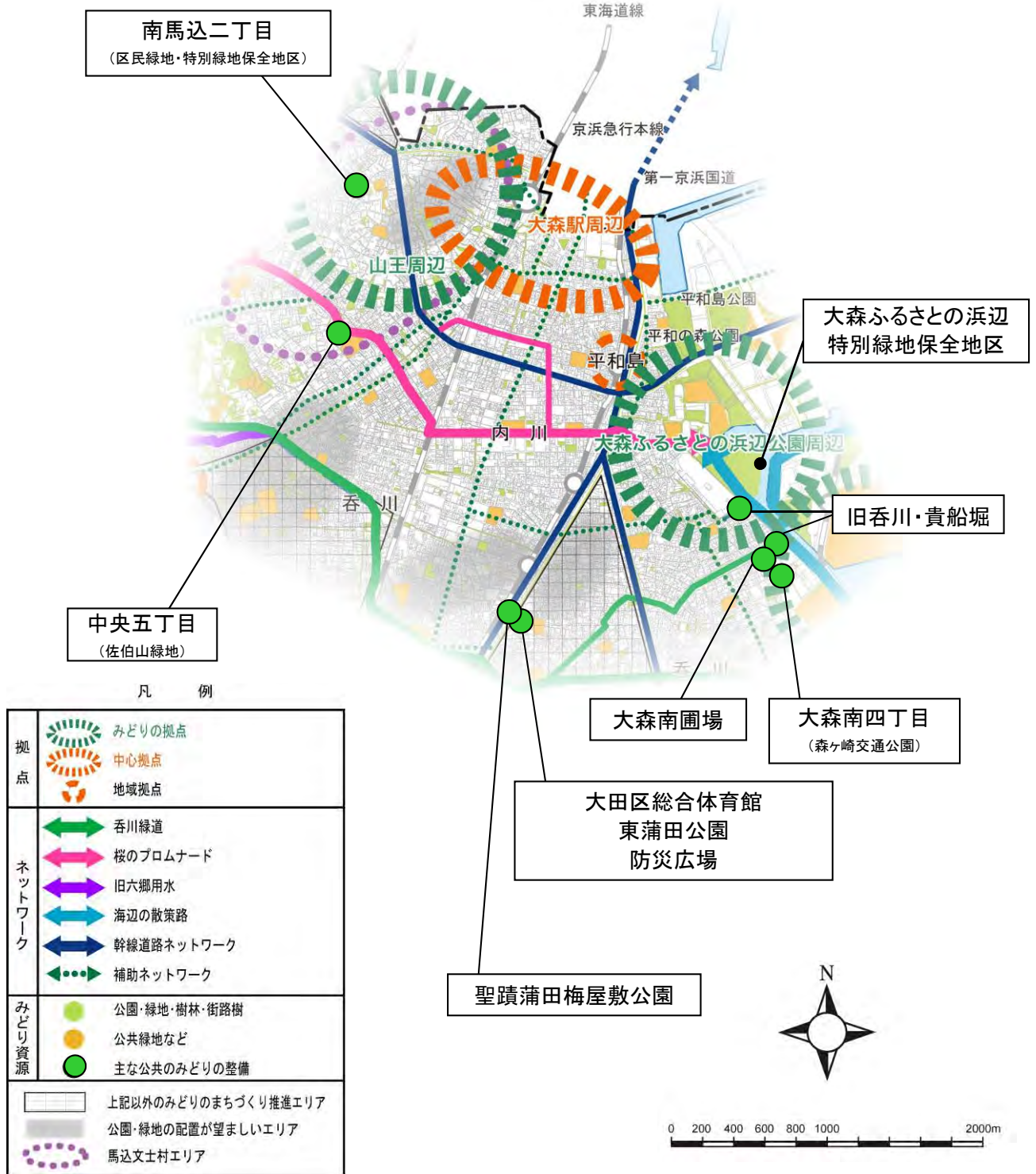
④ 内川を中心とした地域内のみどりをつなぐネットワークづくりを進めます

- ・ 桜のプロムナードの整備、再整備(大森東から南馬込)
- ・ 歴史と文化と自然の散歩道づくり(馬込文士村、旧東海道など)
- ・ 既存緑道の魅力アップ(旧呑川緑道など)

⑤ 賑わいと、歴史・文化のみどりのまちづくりを推進します

- ・ 「大森駅周辺地区ランドデザイン」の推進
- ・ 防災まちづくり事業の推進(大森中周辺)
- ・ 歴史文化的資源の活用(海苔づくり、旧東海道、馬込文士村など)
- ・ 地域のみどりのまちづくり活動の推進

暮らしを感じる賑わいと、浜風と文化のかおるみどりのまち



※「主な公共のみどりの整備」にはI期前期(平成23年度～27年度)に供用開始したものを含まず。

図-35 地域別方針図【大森地域】

3 蒲田地域

概況

蒲田は大森駅周辺とともに、中心的な商業業務地区として発展してきましたが、羽田空港の再国際化や京浜急行線連続立体交差事業を契機として、羽田空港の近接性を活かした賑わいのある商業業務の拠点としてまちが大きく変わりつつあります。

この地域は、蒲田駅周辺の中心商業業務市街地とその周辺に池上まで広がる密集市街地や住工調和型市街地で、6つの地域の中では最も緑の少ない地域です。これまでの取組により緑被率は増加傾向が見られますが、まだまだ緑が不足しており一層の緑化推進が望まれます。また、中心部を流れる呑川は地域のみどりのシンボルであり、呑川を活かした中心拠点としての魅力あるみどりのまちづくりや、密集市街地での安全・安心と潤いを高める取組や駅周辺の回遊性を高めるみどりのネットワークづくりや公園・緑地の不足地域の解消、拡張整備などにより、地域全体でみどりを増やす取組が求められています。

みどりのまちづくり方針

呑川沿いのみどりを活かした水と緑のある潤いを感じる中心拠点整備や東蒲田や新蒲田周辺の住工調和型市街地整備、東蒲田を含む大森中地区の防災まちづくりによる緑化推進や公園・緑地整備などに取り組み「世界に開かれた、賑わいと活力の中に潤いを感じるみどりのまちづくり」を推進します。

① 呑川や幹線道路を活かした地域のみどりの骨格をつくります

- ・ 呑川緑道の整備、再整備(京急蒲田駅周辺から池上本門寺周辺まで)
- ・ 呑川緑道の拠点づくり(蒲田駅周辺)

② 公園不足地域の解消に努め、地域の魅力を活かした公園・緑地を整備します

- ・ 東蒲田公園及び防災広場(平成 24 年竣工)
- ・ 聖蹟蒲田梅屋敷公園の再生整備
- ・ 公園不足地域の解消(池上七丁目、西蒲田二丁目及び東矢口二丁目付近など)

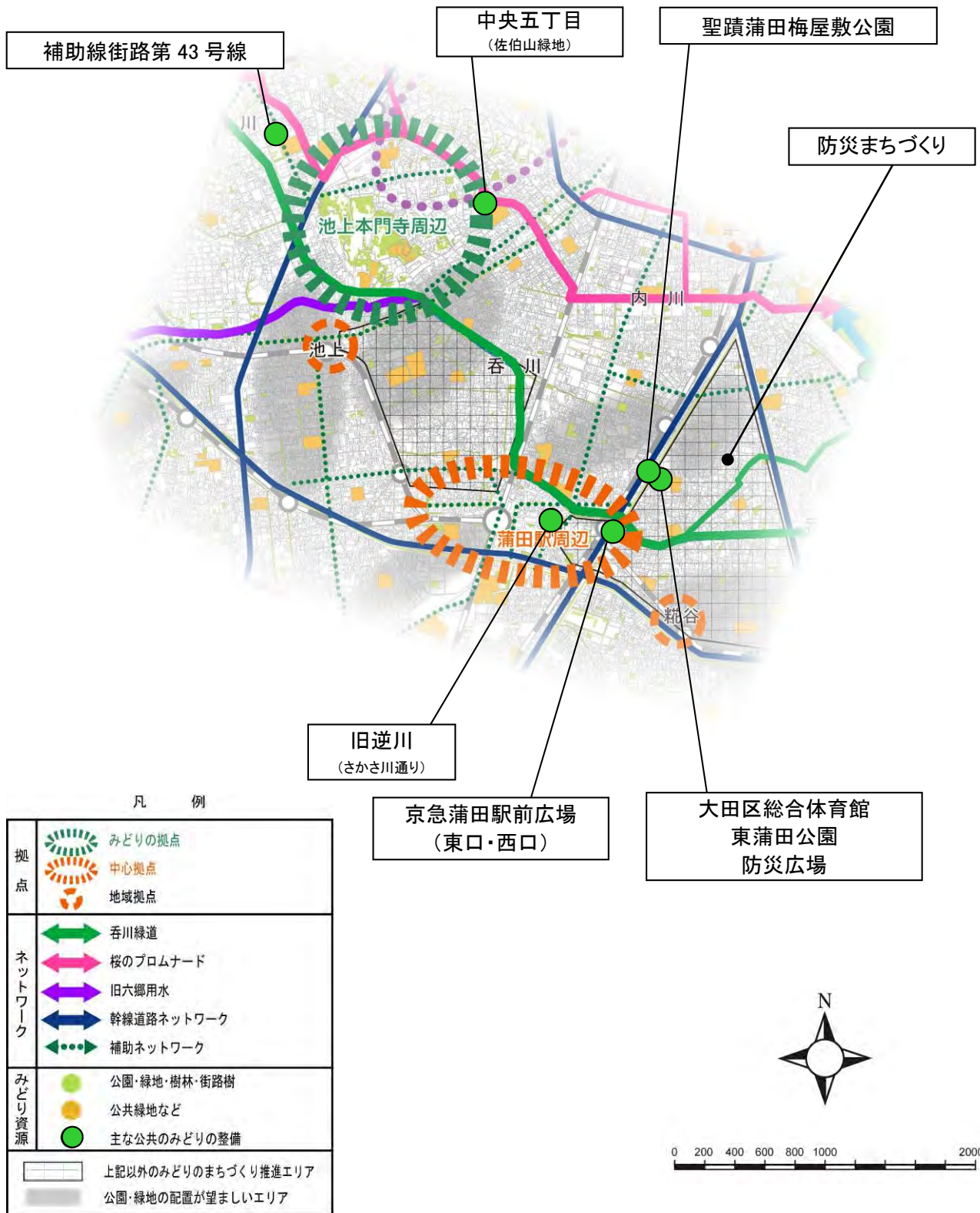
③ 地域内の回遊性を高める市街地のネットワークをつくります

- ・ 蒲田駅周辺回遊路の整備(旧逆川)
- ・ 京浜急行線連続立体交差事業に伴う関連側道の整備

④ 賑わいと活力の中に潤いを感じるみどりのまちづくりを推進します

- ・ 「蒲田駅周辺地区ランドデザイン」の推進(中心拠点)
- ・ 京浜急行連続立体交差事業関連まちづくりの推進(京急蒲田駅前広場など京急蒲田駅から梅屋敷駅)
- ・ 防災まちづくりの推進(東蒲田、南蒲田、西蒲田周辺)
- ・ 歴史文化的資源の活用(聖蹟蒲田梅屋敷公園、松竹キネマなど)
- ・ 大田区総合体育館の建設(平成 24 年竣工)
- ・ 地域のみどりのまちづくり活動の推進

世界に開かれた、賑わいと活力の中に潤いを感じるみどりのまち



※「主な公共のみどりの整備」には I 期前期(平成 23 年度～27 年度)に供用開始したものを含まます。

図-36 地域別方針図【蒲田地域】

4 多摩川沿い地域

概況

多摩川沿いに広がるこの地域は、大田区の工業発祥の地のひとつです。この工業の地にも、大規模なマンション建設や、開発に伴うスーパー堤防整備が行われたりするなど、工場と住宅の調和するまちへと変化しています。

地域内には、六郷橋・大師橋周辺や鶉の木周辺の2箇所のみどりの拠点があります。また、広大な多摩川河川敷は、区民が水と緑や、スポーツやレクリエーションに気軽に親しめる貴重な緑地となっています。緑被率は下丸子や南六郷を中心に工場から集合住宅への土地利用転換に伴い増加傾向にあります。地域全体でまだまだ緑化の推進が必要です。さらに、内陸部の市街地では公園・緑地の不足地域の解消や拡張整備も望まれます。

みどりのまちづくり方針

多摩川の水辺と広大な緑地や崖線の緑を活かしつつ、雑色駅周辺の地域拠点づくりや住工調和型市街地整備に伴う緑化推進や公園・緑地整備などに取り組み、多摩川につながる道路の並木や緑道、そして周辺市街地のみどりが一体になった「多摩川を活かした水辺の環境が、区民の余暇を支えるみどりのまちづくり」を推進します。

① 2つのみどりの拠点の保全・再生に取り組みます

- ・ 六郷橋・大師橋緑地周辺、鶉の木周辺

② みどりの骨格となる崖線沿いのみどりや多摩川沿いのみどりを守り、つくりま

- ・ 国分寺崖線、南北崖線沿いの樹木・樹林の保護(鶉の木から千鳥)
- ・ 「多摩川水系河川整備計画」の推進(鶉の木から本羽田)
- ・ 水と緑の散策路の整備(鶉の木から本羽田)

③ 公園不足地域の解消に努め、地域の魅力を活かした公園・緑地を整備します

- ・ 大規模公園・緑地の魅力アップ(多摩川緑地、下丸子公園など)
- ・ 鶉の木松山公園の拡張整備
- ・ 公園不足地域の解消(下丸子一・三丁目付近など)

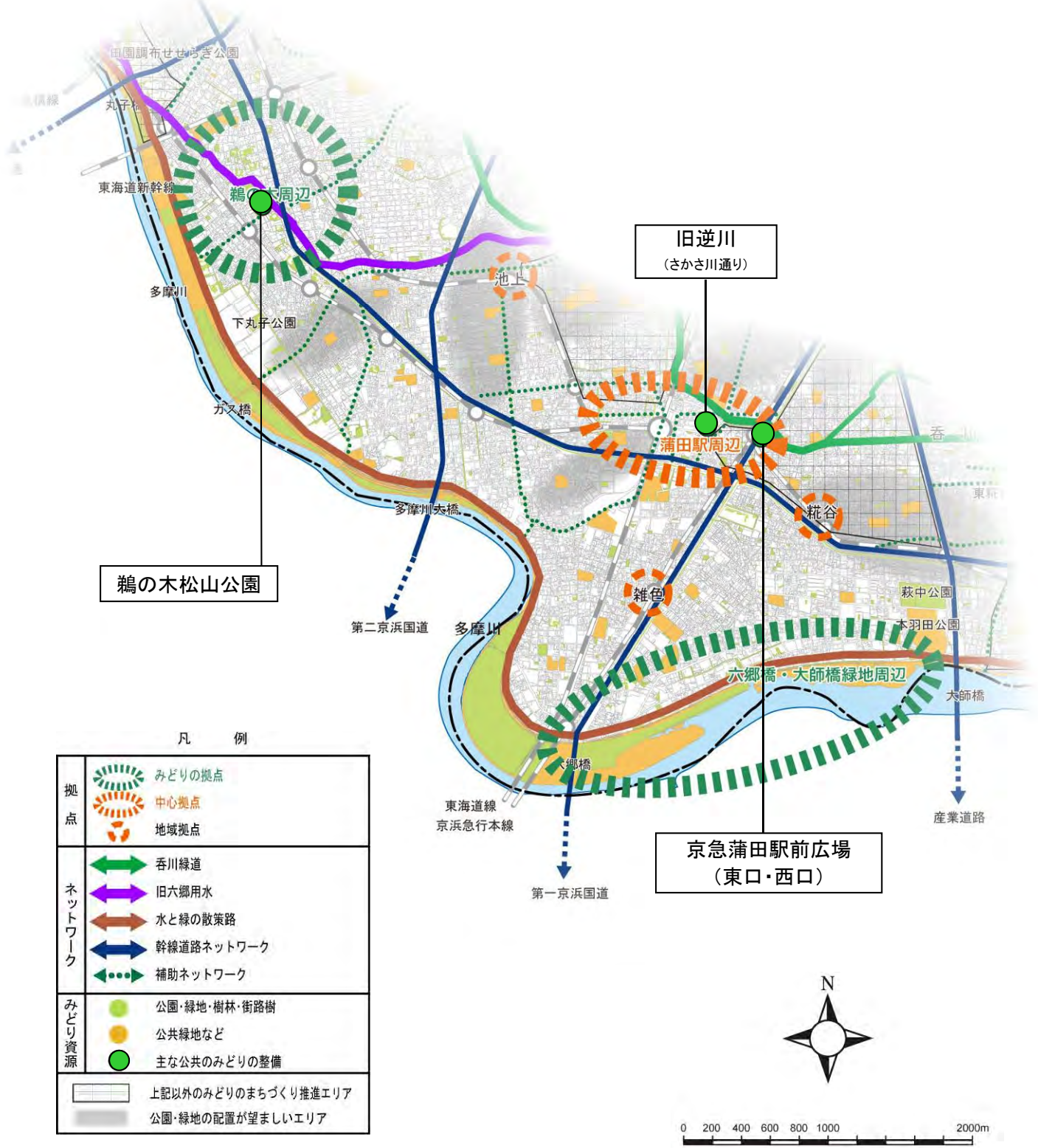
④ 旧六郷用水を活かしたネットワークをつくりま

- ・ 旧六郷用水散策路の整備、再整備(鶉の木から千鳥)
- ・ 既存緑道の魅力アップ

⑤ 多摩川につながる水と緑を活かしたみどりのまちづくりを進めます

- ・ 京浜急行連続立体交差事業関連まちづくりの推進(雑色駅周辺)
- ・ 民間開発に伴う多摩川沿いの公開空地や緑地の確保
- ・ 歴史文化的資源の活用(多摩川の渡し場や旧街道筋、六郷用水、鶉の木横穴墳墓群など)
- ・ 地域のみどりのまちづくり活動の推進

多摩川を活かした水辺の環境が、区民の余暇を支えるみどりのまち



※「主な公共のみどりの整備」には I 期前期(平成 23 年度～27 年度)に供用開始したものを含まます。

図-37 地域別方針図【多摩川沿い地域】

5 糀谷・羽田地域

概況

漁師町の名残のある羽田地域や工場のまちとして発展してきた本羽田や糀谷地域などでは、狭い路地を挟んで古くからの住宅や工場などが立ち並ぶ特徴のあるまちなみが形成されていますが、一部では工場移転跡地の集合住宅化が見られます。また、海老取川や運河沿いの大規模な工場の移転跡地の開発は、隣接する羽田空港跡地とともに、これからの大田区の実現に大きな影響を与えるものであるといえます。

地域内では、森ヶ崎周辺が干潟を中心としたみどりの拠点となっており、羽田空港跡地周辺の多摩川河口部にも貴重な干潟が広がっています。一方で、住・工の建物が密集している地区が多いことから緑被率は低く、さらなる緑化推進が必要です。また、幅の狭い道路が多く防災上の危険度が高く、緑も少ないため、地域の安全・安心を高めるためにも公園・緑地の整備や緑の空間確保が急がれます。

みどりのまちづくり方針

羽田空港跡地のまちづくりや拠点公園・緑地の整備とともに、大規模工場跡地開発にあわせてみどりの確保に努めます。国際空港の玄関口にふさわしいみどりづくりを進めるとともに、地域内の安全・安心を高める防災まちづくり事業などを通して「地域の活力と安全・安心が育む、おもてなしのみどりのまちづくり」を推進します。

① 2つのみどりの拠点の保全・再生に取り組みます

- ・ 森ヶ崎周辺、六郷橋・大師橋緑地周辺

② みどりの骨格となる運河沿いと多摩川、呑川沿いのみどりを守り、つくります

- ・ 海辺の散策路の整備(羽田から大森南)
- ・ 「多摩川河川水系環境整備計画」の推進(本羽田から河口まで)
- ・ 水と緑の散策路の整備(羽田空港から本羽田)
- ・ 呑川緑道の整備、再整備(北糀谷から河口まで)

③ 羽田空港跡地のみどりづくりを進めます

- ・ 「羽田空港跡地利用 OTA 基本プラン」の推進
- ・ 「羽田空港跡地第1ゾーン整備方針」に基づく推進

④ 公園不足地域の解消に努め、地域の魅力を活かした公園・緑地を整備します

- ・ 大規模公園・緑地の魅力アップ(萩中公園、本羽田公園など)
- ・ 大森南圃場の再整備
- ・ 公園不足地域の解消(西糀谷一・三丁目付近など)

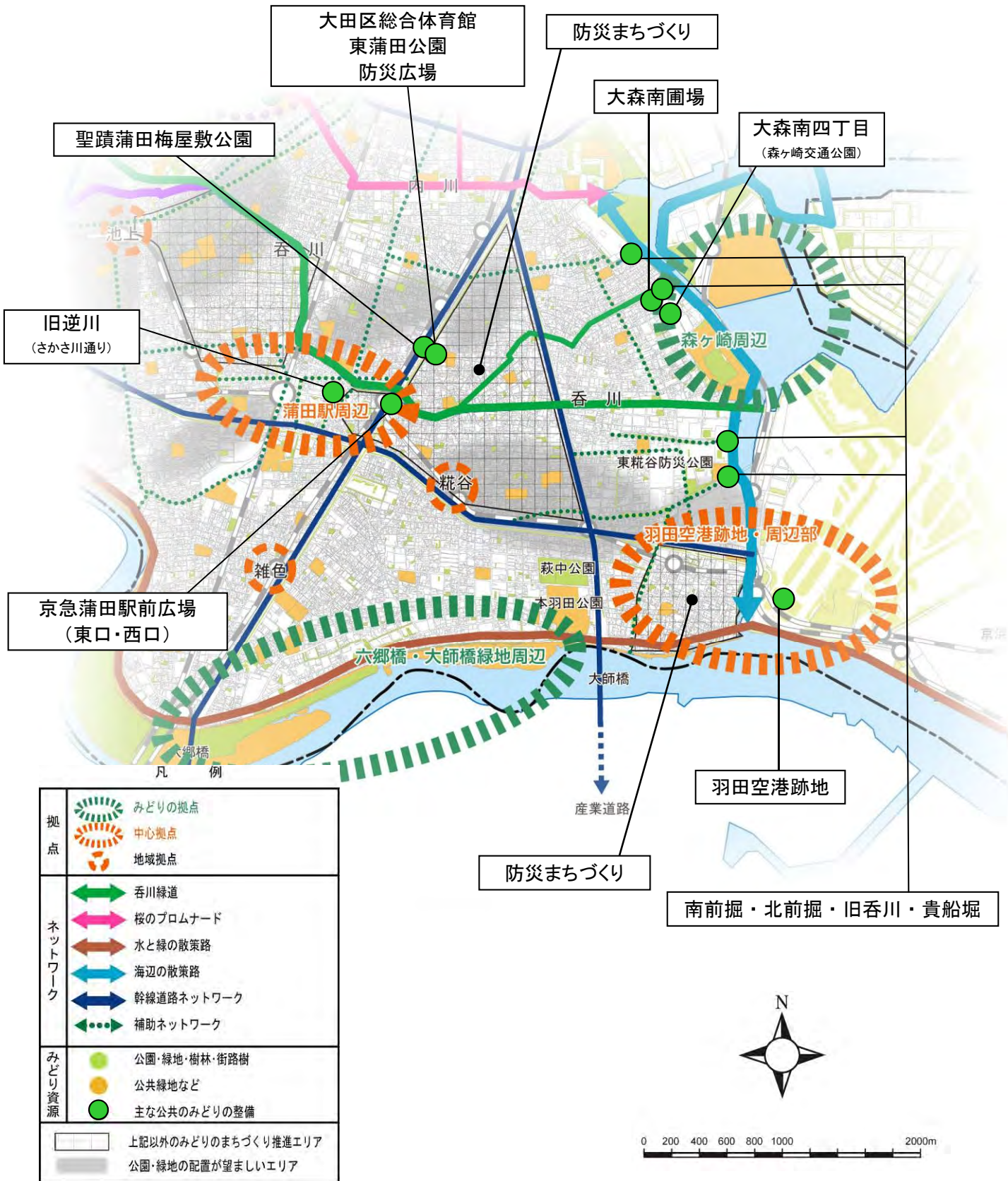
⑤ 市街地から海へと続く水辺を活かしたネットワークをつくります

- ・ 臨海部堀割りの再生整備(南前堀、北前堀、旧呑川、貴船堀)
- ・ 既存緑道の魅力アップ(旧呑川緑道、六間堀緑地など)

⑥ 安全・安心が育む、おもてなしのみどりのまちづくりを推進します

- ・ 地域拠点のまちづくりの推進(糀谷駅周辺)
- ・ 防災まちづくりの推進(北糀谷、西糀谷、羽田周辺)
- ・ 民間開発に伴う公開空地や緑地の確保(羽田旭町周辺)
- ・ 歴史文化的資源の活用(羽田道や海苔づくり、運河、堀割など)
- ・ 地域のみどりのまちづくりの推進

地域の活力と安全・安心が育む、おもてなしのみどりのまち



※「主な公共のみどりの整備」にはⅠ期前期(平成23年度～27年度)に供用開始したものを含まず。

図-38 地域別方針図【糞谷・羽田地域】

6 空港臨海部地域

概況

羽田空港や東京港の関連施設のほか、物流関連施設、工業、市場などの産業機能、下水道処理場、清掃工場、その他の処理施設、火葬場、大規模な公園やレクリエーション施設などが立地する臨海部埋立地は、首都東京を支える役割を担っており、内陸部とは異なるまちを形成しています。

地域内には、東京港野鳥公園周辺、大井ふ頭中央海浜公園周辺などの海上公園や大森ふるさとの浜辺公園といった比較的新しい緑と海辺の自然を核とした、3箇所のみどりの拠点が形成されつつあり、自然との共存や海辺の自然環境の復元再生が課題となっています。また、緑被率は計画的なまちづくりが進められたため6地域でもっとも高く、公園・緑地や緑道なども整備されてきていますが、内陸部市街地からのアクセス確保や島間のつながりなどのみどりのネットワークの更なる充実と、既存のみどりの資源を活かした賑わいの創出が望まれています。

みどりのまちづくり方針

海上公園を核とした海辺のみどりの拠点づくりや貴重な干潟の保全や人工海浜や緩傾斜護岸などによる海辺の自然環境の復元、再生を推進していくとともに、海辺の賑わいを生むみどりの拠点づくりや内陸部からつながる水と緑のネットワークづくりをさらに進め「海辺の水と緑に包まれた、世界につながるみどりのまちづくり」を推進します。

① 3つのみどりの拠点の保全・再生に取り組みます

- ・ 大森ふるさとの浜辺公園周辺、大井ふ頭中央海浜公園周辺、東京港野鳥公園周辺

② みどりの骨格となる運河沿いのみどりを守り、つくります

- ・ 海辺の散策路の整備(大森ふるさとの浜辺公園から城南島、東海まで)
- ・ 緩傾斜護岸の整備推進

③ 羽田空港跡地のみどりづくりを進めます

- ・ 「羽田空港跡地利用 OTA 基本プラン」の推進
- ・ 「羽田空港跡地第1ゾーン整備方針」に基づく推進

④ 海辺の魅力を活かした公園・緑地を整備します

- ・ 海上公園の整備、拡充の推進
- ・ 海上公園の移管整備の推進
- ・ 樹林地や水辺空間の復元再生、大規模公園・緑地の魅力アップなど(平和の森公園、大森ふるさとの浜辺公園、平和島公園)

⑤ 水上交通を含めたネットワークを検討し形成します

- ・ 海上公園・緑道、親水施設等のネットワーク化の推進
- ・ 内陸部からの歩行者自転車アクセスルートの確保
- ・ 水上交通の検討

⑥ おもてなしのみどりのまちづくりを推進します

- ・ 「空港臨海部グランドビジョン 2030」の推進
- ・ 「東京港港湾計画」の推進
- ・ 地域のみどりのまちづくりの推進
- ・ 民間開発に伴う運河沿いの公開空地や緑地の確保

海辺の水と緑に包まれた、世界につながるみどりのまち

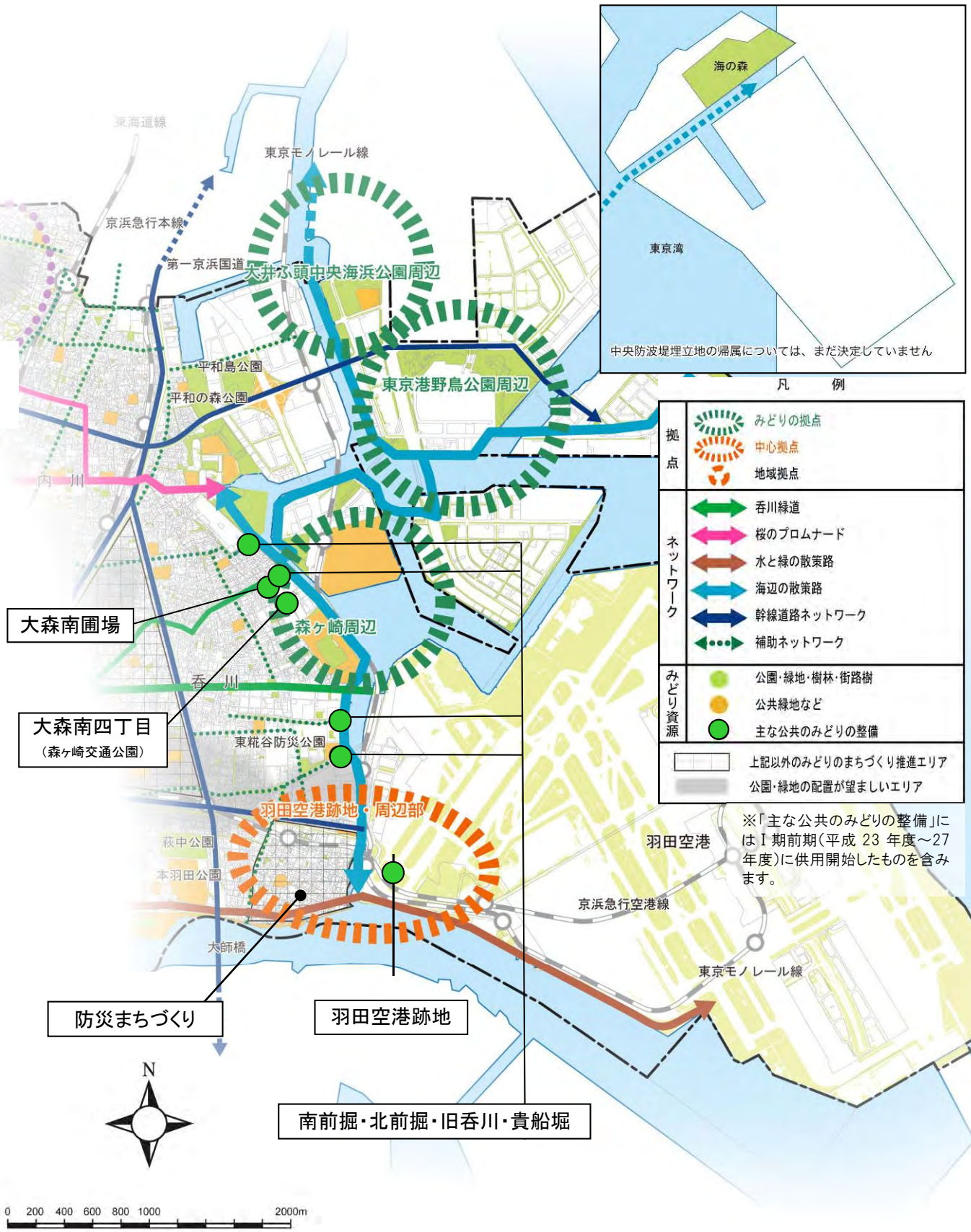


図-39 地域別方針図【空港臨海部地域】

